

学生の皆様

学生生活実態調査ワーキンググループ

## 第9回学生生活実態調査結果に基づく改善等について

標記の件について、平成30年10月に実施されました第9回学生生活実態調査ではアンケートにご協力いただきありがとうございました。

アンケート結果に基づき、改善が必要な事項について大学全体で検討しました。検討の結果、下記のとおり改善等を実施することとしましたので報告します。

### 記

#### 1. 学寮、国際交流会館について

学寮、国際交流会館の環境に関して、満足度が低い傾向が見られました。

学寮に関しては、教育担当副学長および各部局の学生生活委員長等を委員とした「学寮在り方検討WG」にて検討を行っています。楓寮の建て替え等も含めた長期修繕計画を検討し、樺・桜寮のWi-Fi環境の整備や光熱水費等の共益費への一元化など、できることから改善を図っています。

国際交流会館に関しては、全学組織である国際交流委員会が、Wi-Fi環境や内装・家具の改善について検討しています。

#### 2. 図書館等の学習スペースについて

図書館内を含むキャンパス内の学習スペースが不足しているという旨の意見がありました。

増改築によるスペース確保は簡単ではないため、今後は、空き教室等を有効活用した現存スペースの周知強化や、学習スペースの環境向上を検討します。

#### 3. Wi-Fi設備について

Wi-Fi設備拡充、使用可能区域拡大の要望がありました。

教員からも強い要望が出されています。計画的に増設が進むよう、全学教育学生生活委員会にて検討を行い、総合情報メディアセンターに要望を行っていきます。

#### 4. 施設・設備について

小金井キャンパスのグラウンドナイター設備設置について要望がありました。

限りのある財源で徐々に両キャンパスの様々な施設整備を進めています。当面は現状の方法で利用して下さい。

#### 5. キャンパス内の自転車問題について

駐輪場不足、自転車の停め方、危険運転を不満にあげている意見がありました。

駐輪場の広さは十分に確保されています。構内安全維持のため、各キャンパスで定められているルールに従って走行し、指定の駐輪場を利用して下さい。

#### 6. 研究環境（実験器具の改善、電子ジャーナル）の充実

実験器具の改善、電子ジャーナルの充実の要望が特に大学院生から多い傾向が見られました。

実験器具の改善については、教育担当副学長が主宰する学部教育充実検討 WG にて検討を行っています。

電子ジャーナルについては、主要出版社が年々購読料を値上げしており、本学だけでなく、全世界的な問題となっています。図書館の経費に限りがあるため、現在契約を行っているもの以外は、現状では必要な論文のダウンロードは受益者負担で行ってもらわざるを得ません。

#### 7. ハラスメント対応について

セクハラ以外のハラスメントを受けた経験が前回から上昇しており、また、ハラスメント相談室の認知度が低い傾向が見られました。

専門のハラスメント相談員が担当する相談窓口を設けるなど、相談体制自体は整っていますので、更なる周知に努めます。相談者の匿名性は守られますので、相談窓口を気軽に利用して下さい。

農学部では、研究室所属後の学生のために、分野の異なる相談教員を配置していますので気軽に利用して下さい。

#### 8. 教員との対話（指導助言）について

教員との対話が減っている傾向が見られました。

学生との対話時間を確保する方法について、長期的な視点で検討を行っていきます。

#### 9. 就職支援について

会社説明会の充実や大学推薦に関する要望が多い傾向が見られました。

同窓会と大学生協が協力して、学内で合同企業説明会を開催しています。また、各学府とグローバル教育院が協力して、博士課程学生向けのキャリアセミナーも開催しています。学内で開催されている説明会に参加しているのは、本学学生を積極的に採用したいと思っている企業ばかりですから、ぜひ積極的に参加してください。また、同窓会による「企業で活躍している先輩と現役学生や院生との交流会・企業研究会」も新たに実施する予定です。

大学推薦については、各学科・専攻にいる就職担当教員が、実情をよく把握しているので、気軽に相談して下さい。

#### 10. 窓口職員の対応改善について

窓口職員の対応改善について要望意見がありました。

大学側で接遇に関する研修の実施を検討します。気になる対応を受けたときは、気軽に意見箱などを利用して意見を聞かせて下さい。

#### 11. 学習時間の確保について

学外でアルバイトを行っている学生が多くなっている傾向が見られました。また、週 20 時間以上行っている学生が 5.8%いることが分かりました。

日本学生支援機構（JASSO）を始め、大学には多くの奨学金情報が集まっています。奨学金等の情報については、各キャンパスの学生生活係に相談して下さい。

また、奨学金情報については、WEB 掲示板や学生支援室に掲示していますので、定期的な閲覧を心掛けてください。

アルバイトに多くの時間を使うのではなく、学業に専念することで、将来の進路が開けます。

以上